

図書館サポーターズだより

# 明日に吹く風

秋の涼しさから、冬の寒さに移り変わっていくこの季節、ほっと一息温かい飲み物でも飲みながら、読書を堪能しませんか？それでは、11 月も図書館サポーターが皆さんにオススメの本を紹介します！

## ～図書館サポーター推薦図書～

### 『いろはにほへと』：今江 祥智 著 (726.6 || 41)

少し昔、まだ侍がいた頃、ある国に「かっちゃん」という男の子がいた。ある日、かっちゃんは初めて文字を覚えた。「いろはにほへと」の 7 文字である。嬉しさのあまり忘れないよう「いろはにほへと、いろはにほへと…」と繰り返し言いながら歩いていた。すると突然、侍に激突してしまう。その後、かっちゃんを馬鹿にした侍も「いろはにほへと、いろはにほへと…」と言いながら歩いていると、あるものに激突する。この「いろはにほへと」の 7 文字がきっかけで物語は急激な展開に…。2004 年に「日本絵本賞」を受賞。また、小学校の国語の教科書にも掲載された今江祥智の絵本。長谷川義史独特の可愛らしいイラストにも癒される。誰でも楽しく読める絵本なので、ぜひ読んでみては！

(K・N)

### 『東京 23 話』：山内 マリコ 著 (913.6 || Y46)

この本は千代田区をはじめとする東京 23 区のお話です。皆さんにとって、東京とはどんなイメージですか？「人が多いところ」「都会！」「芸能人がいる町」いろいろなイメージがある東京ですが、いざ東京にはなにがあるのか、どんな歴史があるのかと聞かれるとなかなか思い浮かばないのではないのでしょうか。この本はそんな東京を紹介してくれています。短編集のようになっていて、一区ずつ個性豊かなキャラクターが自分の区を紹介しています。また、本の後半には東京 23 区全ての地図がかわいいイラストで描かれていてきっと読者のみなさんは最後までワクワクがとまらないはず…！この本を読めば今まで知らなかった「東京」に出会えるかもしれません。読んだ後はきっと「東京に行きたくなる」「東京 23 区巡りをしてみたいくなる」そんな本になっています。ぜひ、手にとってみて下さい！！

(R・Y)

### 『歴史を変えた 6 つの飲物：ビール、ワイン、蒸留酒、コーヒー、茶、コーラが語るもうひとつの世界史』 ：トム・スタンデージ 著 (383.8 || St2)

ビール、ワイン、蒸留酒、コーヒー、茶、コーラ・・・飲み物は日常生活に欠かすことのできない存在です。毎日の食事や勉強のお供に、飲み会や祝いの引き立て役として当たり前のように溶け込んで私たちの喉を潤し、楽しませてくれています。しかし、普段から何気なく飲んでいる飲み物の歴史を紐解いていくと、人類と飲み物が織りなす数千年にも及ぶ物語が広がっているのです。エジプトのピラミッド、ギリシャ哲学、ローマ帝国、アメリカ独立、フランス革命などなど、人類の進歩と発展の傍らには常に飲み物の存在がありました。もしもこれらの 6 つの飲み物が発見、発明されていなかったとしたら私たちの日常も今とは違う形となっていたでしょう。「飲み物」というちょっと変わった切り口から世界史を捉え直す本書は、常に飲み物が共にある何気ない日常に歴史の息吹を感じさせてくれるかもしれません。

(Y・Y)



\* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。